

平成31年 市長定例記者会見（当初予算（案）概要）

日 時：平成31年2月18日（月） 午前11時～午前11時45分

場 所：射水市役所会議室305・306

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、朝日新聞、
北日本放送、富山テレビ、庄東タイムス、建設工業新聞

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長、
財務管理部次長、財政課長、財政課

質疑応答の概要

Q1． 全体の額が過去最大になったのは、積極予算として位置づけるのか。

A1． 31年度予算案は431億円あまりで、射水市誕生以降最大となった。斎場の整備などもともと予定していた事業や前倒しで実施する事業、国からの予算の関係上先送りした事業なども含め、今回は計画にある事業を中心に計上した。また、射水市が力を入れてきた「子育てと学びがもっと楽しくなるまち」につながる事業は引き続き取り組み、必要なものの充実を図った。新年度は、総合計画後期実施計画や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」第2期計画の策定、都市計画マスタープランの作成、将来のまちづくり、ひとづくりに関する重要な計画の策定も予定している。必要な事業を計上しながら、未来につながる、未来の射水を創生していく予算として編成した。思いとしては積極的に取り組んでいるが、計画的に進める事業が大半であるため、積極的予算とまでは言えない。

Q2． 今年度は消費増税が予定されている。これに対応するという意味で、プレミアム商品券が出てきたが、そのほか取り組む予定があれば伺いたい。

A2． 国において幼児教育の無償化などを予定している。その対応は、政令などの審議がこれからであり、詳細がまだ固まっていないのではないかと捉えている。市としては、政令の制定なども踏まえ補正予算での対応をしていきたいと考えており、必要な取組を検討していきたい。